

ババビー福山加茂自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所　バビビー福山加茂店				
		公表日				
		8　年　2　月　1　日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環 境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・利用人数やこどもの特性に応じて活動内容や配置を工夫し、限られたスペースでも安全に支援が行えるよう配慮している。	・活動内容によってはスペースに制限を感じる場面もあるため、今後はより効率的な空間の使い方や活動の工夫について検討していく
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	・急な変更にも柔軟に対応していると思う	・低年齢児に対してはもう少しゆとりがあっても良いのでは？と思う日がある。  ・曜日によってばらつきがあると感じている  ・もっと職員人数が多ければより良い療育支援の提供を行えると感じる日がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	5	・棚や机などの角にはコーナガードを取り付け、安全面に配慮している。  ・トイレや静養室など子どもが行き来する場所は段差がなくバリアフリーと感じられる	・施設の入り口、棚、手洗い場が子どもの身支度の動線と合っておらず室内を行ったり来たりしてしまっている。  ・トイレの構造が、プライバシーの面で気になるので、改善が必要なのではないかと思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	・常に清掃、整頓されているよう取り組んでいる。	・部屋の構造が子ども達の活動にあっていないと感じる
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	・子どもの状態や気持ちに応じて、個別の部屋や落ち着ける場所を活用し、安心して過ごせる環境づくりを行っている。	・状況によって使用できないことがある  ・狭い小部屋など、心を落ち着かせることができる場所があるといいと思う
業 務 改 善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	2	・日々の振り返りやミーティングを通じて、職員間で意見を出し合いながら目標設定や業務改善に取り組んでいる。	・ミーティングの時間をもっと取りたい  ・全職員がより主体的に参画できるよう、振り返りの機会や共有方法について引き続き工夫していく必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	(今回初めて実施) ・迎え時に必ず子どものその日の行動等を伝えている  ・保護者向け評価表の実施として、保護者の意向やご意見を把握できるよう丁寧な回収と内容の共有を行い、業務改善につなげる取り組みを行っている	・今後は継続的な実施を通して、より効果的に業務改善へ反映できる仕組みづくりが課題である。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	・定期的に職員間での話し合いを行っている。	・ミーティングの時間をもっと取りたい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	・現在は行っていない	・外部評価について把握できていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	0	6	・外部研修や法人内研修への参加を通じて、専門知識や支援技術の向上に努め、日々の支援に活かしている。	・研修を受ける機会が少ない。あっても一部の職員のみ参加になっている。  ・研修にもっと参加し、療育の知識を深めたい。  ・研修にもっとたくさん参加したい
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	3	・ガイドラインを踏まえた支援プログラムの作成に取り組み、内容を分かりやすく整理した上で公表を行っている。	・個々の発達年齢のすり合わせが必要と感じる

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	1	・日々の支援や面談を通してアセスメントを行い、こどもや保護者のニーズを踏まえた児童発達支援計画の作成に努めている。	・より客観的で分かりやすい計画とするため、情報の整理や職員間での共有方法について、今後も工夫していく必要がある
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・児発管が率先して検討する場を設けている。 ・児童発達支援管理責任者を中心に、関係職員が情報を共有しながら、こどもの最善の利益を考慮した支援計画の検討を行っている。	・職員全体での共通理解をさらに深めるため、意見交換の機会や共有方法について、今後も工夫していく必要がある。
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・児童発達支援計画を職員間で共有し、日々の支援の中で計画内容を意識しながら支援を行っている。	・支援の一貫性をさらに高めるため、計画内容の理解や共有方法について、引き続き工夫していく必要がある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・日々の関わりの中でこどもの様子を丁寧に観察し、その変化を支援に活かすよう心がけている。	・観察した内容を職員間でより分かりやすく共有し、支援につなげていくための工夫が今後の課題である。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	・こどもの状況に応じて、本人への支援だけでなく、家庭や今後の生活を見据えた視点も大切にしながら、具体的な支援内容を考えている。	・支援内容がより分かりやすく一貫したものとなるよう、職員間での共有や振り返りを引き続き充実させていく必要がある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・職員間で意見を出し合いながら、こどもの状況やねらいを共有し、活動プログラムの立案を行っている。	・より多様な視点を取り入れられるよう、話し合いの機会や進め方について、今後も工夫していく必要がある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・同じ支援用具を使用するプログラムでも、子や時期に合わせて変化をつけている。 ・プログラムを固定することで子どもが安定しているので、あえて固定している。	・さらに幅広い活動を取り入れられるよう、アイデアの共有や振り返りの機会を充実させていく必要がある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	・子どもの特性や状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせながら支援計画を作成し、日々の支援に活かしている。	・集団が難しい子に対してよりきめ細かい支援ができればと感じる
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	・必ずではないが、事前に打ち合わせをするようにし、活動中の細かな職員配置についても話をしている。	・できていない時もある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・翌日にも伝達の間を設けるようにしている。 ・支援後の振り返りを行っている。	・できていない時もある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	・日々の支援内容やこどもの様子を記録し、職員間で共有しながら支援の振り返りや改善に活かしている。	・記録内容をより分かりやすく整理し、支援の検証により効果的につなげていくための工夫が今後の課題である。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・日々の支援の様子や面談内容をもとに振り返りを行い、必要に応じて支援計画の見直しを検討している。	・見直しのタイミングや内容について、職員間での共有をさらに深め、より分かりやすく活用していくことが今後の課題である。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	・こどもの日頃の様子を把握している職員が会議に参加し、関係機関と情報共有を行いながら支援につなげている。	・会議内容をより多くの職員で共有し、支援に一層活かしていくための工夫が今後の課題である。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	・児童発達支援管理責任者を中心に取り組んでいる	・分からない

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	・保育所等との連携は定期的に行っている。  ・子どもの状況や今後の生活を見据え、併行利用や移行を意識した支援を行い、必要に応じて関係機関との情報共有に努めている。	・より円滑な連携につなげるため、情報共有の方法やタイミングについて、今後も工夫していく必要がある。  ・お互いのさらなる信頼構築の為に今後もこまめな連携をとっていく
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	4	・児童発達支援管理責任者が率先して行っている	(まだその時期を経験していない)  ・必要に応じてアプローチすべきと思う
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	1	5	・地域の児童発達支援センターと連携し、日々の支援に活かすよう努めている。	・分からない  ・グループSVを受けられればよりよくなると思う。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	・現在は行っていない	・これから機会を設けていく
保護者への説明等	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	・顔を合わせる保護者にも、お会いしない保護者にも、必ず子の様子を細かく共有するよう取り組んでいる。  ・日々のシェアリングは有効に行えていると思う。	・出来るだけ保護者との対話を行っているが、共通理解の難しさを感じることもある。  ・内容、タイミング、時間が増すと思う
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・掲示もしている	・家庭での関わりの情報提供を今後行えるといいと思う
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・見学、契約時に丁寧な説明を行っている。	・今後も同様に行っていく
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	・モニタリングで保護者の意向を伺い、児童発達支援計画を作成している	・今後も同様に行っていく
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・児童発達支援計画を示しながら支援内容を丁寧に説明し、保護者に分かりやすく伝えることを心がけている。	・さらに理解を深めていただけるよう、説明方法や確認の仕方について、今後も工夫していく必要がある
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	・保護者の方とは、送迎などの際によく話をさせてもらっており、必要に応じて面談も行っている。	・もっと頻度が上がると思う
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだით士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6	・現在は行っていない	・交流は有意義と思う  ・今後検討していく
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・相談しやすい雰囲気づくりを心がけるとともに、相談や申入れがあった際には、職員間で共有しながら迅速な対応に努めている。	・相談対応の流れをより分かりやすく周知できるように、説明方法や共有の仕方について、今後も工夫していく必要がある。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・日を決めて作成、発信を行っている。  ・月だよりやLINEを活用し、活動の様子や行事予定、連絡体制について分かりやすく情報発信を行っている。	・より多くの保護者にとって見やすく、必要な情報が伝わりやすい発信となるよう、内容や方法について今後も工夫していく必要がある。

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真の使用については契約時に同意書をいただいている</li> <li>・書類は施錠できる棚で保管している</li> </ul>	・職員全体での意識をさらに高めるため、定期的な確認や共有の機会を充実させていく必要がある。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの特性や保護者の状況に応じて、分かりやすい言葉や伝え方を心がけている。</li> <li>・イラストや写真を使用し、視覚的支援も心がけている</li> </ul>	・すべての子どもや保護者により伝わりやすい方法を選ぶよう、引き続き工夫を重ねていく必要がある。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	・小規模保育園の子ども達を招待し、交流をしたことがある。	・今後も機会を設けられるよう検討していく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	・各種マニュアルを整備し、職員間で内容を共有している	・家族への周知や訓練後の振り返りを工夫し、より実際の場面を想定した対応につなげていきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	3	・業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害を想定した避難訓練を定期的の実施している。	・訓練後の振り返りを充実させ、より実践的な対応につなげていきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に確認している。</li> <li>（現在、対応が必要な児童が在籍していない）</li> </ul>	・今後も同様に行っていく
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に確認している。</li> <li>（食事提供を行っていない）</li> <li>（現在、対応が必要な児童が在籍していない）</li> </ul>	・今後も同様に行っていく
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2	・安全計画に基づき、研修や訓練を定期的の実施し、日々の支援が安全に行えるよう配慮している。	・訓練や手順の振り返りを充実させ、より安心・安全な支援につなげていきたい。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2	・安全計画に基づき、こどもの安全確保の取組内容を保護者に分かりやすく伝え、連携しながら支援を行うよう努めている。	・家族への周知方法やタイミングを工夫し、より安心していただける連携につなげていきたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細かく確認、伝達を行い、対策も早期実施している</li> <li>・些細なことでも記録するようにしている</li> </ul>	・共有の方法や内容をさらに工夫し、より実践的に再発防止策につなげられるよう取り組んでいく
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	2	・研修に定期的に参加している	・保護者に対して、対応していることの提示が必要と思う
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2	・記載している	・契約書に記載し、契約の際には保護者には説明を行っている。